

嘘は許さない！ 津崎裁判ニュース

No.4
2024年11月12日
嘘は許さないプロジェクト
原告 渡邊幹夫・小林國博

JR総連山口委員長！ ハッキリ答えてください！！

組合員はみんな、実際はどうなんだろう？と、思っていますよ。

原告・渡邊は10月25日の第1回裁判で、「この頃、JR総連は、『すでに津崎さんは嘘の報告書を撤回し、関係者にも謝罪している。』と言っています。しかし、津崎さんは、私にも、小林にも謝罪などしていません。JR総連が言っていることは嘘です。」と、発言しています。

山口委員長！ どうなんですか？ 上記の原告・渡邊が言ったことは、嘘ですか？ 本当になんですか？ ハッキリ答えて下さい！！

山口委員長！ このような簡単なことにすら答えられなかったら、いくら山口委員長が、10・25「東海労裁判（勝利？）を勝ち取る集会」で、「この東海労裁判の口頭弁論を通じて、JR総連がつくりだして来た運動の正しさと東海労の組織の問題性を明らかにして、二度とこのような事態を繰り返さないよう組織づくりに邁進して行く」（西労・西波 11/1号より）と、述べ、「JR総連は、一切の組織破壊攻撃を許さず、厳しいたたかいを通じて、組合員意識、労働者意識、仲間意識を高め、現実を突破していこう」（JR総連通信 10/28号より）と、訴えても、

この裁判の核心問題であり一番肝心な、津崎さんが名誉毀損をしていないことは証明できないし、ましてや、JR総連運動の前進も、組合員の意識を高め、組織強化等できないでしょう。

もう一つ、山口委員長にお願いがあります。

前回の裁判で、せっかく私たちがお譲りしたのに、傍聴者の約半数はJR総連役員・西労役員（しかも、ほとんどが本部役員）の皆さんが占め、残念ながら津崎さんと同じ貨物労組、それも関西地本組合員の皆さんは、ほとんど傍聴されていません。（ひょっとして、貨物労組からは「裁判報告の情報」も発行されてないし、組合員の皆さんに見聞させたくなくて、意図的に傍聴させていない？）

私たちは、この裁判で、津崎さんが本当のことを言っているのか、それとも嘘をついているのか、貨物労組の皆さんに、直接、自分の目・耳で確認してほしいのです。

山口委員長！ぜひ、次回の裁判(12/11)では、貨物労組の組合員が多数傍聴参加できるようお願いします。（その中に貨物会社の方が含まれても、かまいません。）